

毎日蒸し暑いですね。気温も湿度も高くじっとりと汗をかきますね。そんな気候を好み、活発になるウイルスがいます。夏風邪のウイルスです。保育園でも夏風邪と診断されるお子さんが増えてきました。夏風邪ウイルスの特徴を知っておきましょう。現在県内では手足口病が増えてきているそうです。お子さんの様子を注意してみてください。

◎ 代表的な夏風邪ウイルス感染症

手足口病

- ・ 潜伏期間3～5日
- ・ 手のひら、足の裏、口の中にぷつぷつと小さな水ぼうのような発疹が出る
- ・ 口の中の痛みにより、食事や水分が取れず脱水症状を起こすことがある
- ・ 熱が出ることもある
- ・ 登園の目安は「発熱や口腔内の水ぼうの影響が無く、普段の食事がとれること」



ヘルパンギーナ

- ・ 潜伏期間2～4日
- ・ 39度以上の熱が1～3日続き、のどが赤くはれ、口の中に水ぼうがたくさんできる
- ・ のどの痛みで食欲がなくなり、脱水症状を起こすこともある
- ・ 登園の目安は「発熱や口腔内の水ぼうの影響が無く、普段の食事がとれること」



咽頭結膜熱(プール熱)

- ・ 潜伏期間5～7日
- ・ のどの痛み、目の充血、発熱が主な症状である
- ・ **アデノウイルス**による感染症である ※(次ページ参照)
- ・ 登園の目安は「発熱、充血等の主な症状が消失した後2日を経過していること」



夏風邪ウイルスの共通の特徴

- 原因のウイルスが複数あるため、何度もかかる可能性があります。
- 症状回復後もウイルスが咳や鼻水から1～2週間、便から2～4週間排出されるため注意が必要です。手洗いを徹底しましょう。



※ アデノウイルスについて

何十種類もウイルスの型があり、様々な症状で何度もかかることがあります。

- ・ 流行性角結膜炎（はやり目）……目の充血、多くの目やにや涙に加え、リンパ節の腫れや痛みを伴う。
- ・ 発熱やのどの痛みの他、呼吸器症状や下痢おう吐といった胃腸炎症状が出ることもある。

上記や前頁の診断をされた場合は保育園にお知らせください。登園の再開にあたってはすべて**登園許可証が必要**となっております。

皮膚トラブルについて(怪我をしたとき)

最近擦り傷やかき傷が悪化しているお子さんを多く見ます。

今の蒸し暑い時期は特に悪化しやすくなります。以下のことに注意しましょう。

● 怪我をしたら流水で傷をよく洗いましょう。

雑菌が残っていると腫れて熱を持ったり痛みが出たり膿がでます。

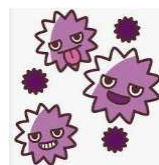
嫌がったら「ばい菌ついているからバイバイしようね。」など声掛けながらやってみてください。



● 絆創膏を貼った場合、濡れたり汚れたらその都度取り換える。傷口もその都度洗う。

絆創膏を取り換えずに放置すると、半日で雑菌が数十万個になり

傷口を埋め尽くすそうです。雑菌が十万個を超えると、化膿したり臭いを放ち始めるそうです。



※ キズパワーパッドは、傷口を洗って清潔にしたうえでパッドを貼り、はがさず傷口の治癒を促す絆創膏で、普通の絆創膏と目的と治し方が違います。

保育園で怪我をして絆創膏を貼った場合、お家でお風呂の際傷口をよく洗ってください。引き続き絆創膏を貼って登園される場合、悪化防止の為取り換え用の絆創膏を持たせていただけるとありがたいです。

とびひ



傷口に細菌が感染すると「とびひ」になります。あちこち皮膚がジュクジュクして液が出て赤く腫れ痛みます。人に感染しますので**登園許可証**が必要です。

じめじめ蒸し暑いですが、皮膚トラブルなく気持ちよく過ごしたいですね。

